

2026年4月1日
出光興産株式会社

2026年度入社式における社長挨拶

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）は、本日、2026年度入社式を開催しました。新入社員に向けた、当社代表取締役社長 酒井則明の挨拶（要旨）は以下の通りです。

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。このたび、縁あって出光興産に入社を決めてくれた150名の皆さんにお会いすることができ、大変嬉しく思っています。

当社は石油という重要な商材を扱いながらも、創業者は「人を育てることが事業であって、石油業はその手段」と公言しました。創業以来、最も重要な経営資源は「人」であり、「人が中心の経営」を実践しています。事業を通じて人が育ち、その育った人財によって環境変化やさまざまな試練を乗り越えてきました。

今、世界を取り巻く環境は一段と不透明感を増しています。足元では中東情勢が急速に緊迫化し、エネルギー安全保障を巡るリスクが高まっています。こうした状況の中で、私たちが長年担ってきた「エネルギーと素材の安定供給」という社会的使命が日々の暮らしや産業活動を支えており、そして、その使命を果たす重要性が改めて浮き彫りになっていると感じています。

並行して、カーボンニュートラルに向けた取り組みも、中長期的に見れば世界全体で着実に広がっています。エネルギー安全保障とカーボンニュートラルの取り組みを両立させていくためには、国や地域の状況を踏まえながら、現実的な時間軸で確実にエネルギートランジションを進めていくことが重要だと考えています。

皆さんがこれから携わる一つひとつの仕事は、社会の基盤となる大切な役割を担っています。皆さんも日々の仕事の中で、その重みややりがいを感じてもらえんと思います。

人々の生活を100年以上にわたって支え続けてきた石油を、新たなエネルギーに変えていくことは容易ではありません。当社は、石油が枯渇すると言われた50年以上前から、多様な石油代替エネルギー事業に取り組んできています。また、創業間もない頃から海外で潤滑油などの事業にも取り組み、現在は20を超える国と地域で、さまざまなエネルギーを取り扱っています。

当社は、創業から現在に至るまで幅広い事業、エネルギーと素材の安定供給にチャレンジするという風土を築きあげてきました。2050年カーボンニュートラル社会実現に向けては、創業以来続くチャレンジする風土がある当社だからこそ、エネルギートランジションをけん引するメインプレイヤーになれると確信しています。

皆さんはこれから、時代の変化に伴う経験をたくさんすると思います。時には難しい局面もあるはずですが、そのような時には失敗を恐れず、大いにチャレンジしてください。「人の成長」を経営目的とする当社にとって、チャレンジする「場」は必要不可欠です。皆さんが働くそれぞれの職場において、チャレンジできる環境を用意します。臆することなく、さまざまな課題に果敢にチャレンジしてください。

新入社員教育の後、皆さんは各職場に配属されます。当社では、若手であっても重要な仕事を任せられる機会があります。それは、皆さんを信頼し、成長を期待しているからです。仕事に取り組む過程では、思い悩むこともあるでしょう。周囲の支援を受けながら積極的に物事に取り組み、多くの人との出会いを大切に、思い切ってチャレンジしてください。そして、各職場の先輩たちから多くのことを吸収してください。

仕事には厳しく辛い場面もあります。しかし、そこから学び、経験し、一步一步乗り越えていくことで、仕事を好きになり、楽しいと思えるようになります。それが皆さんの成長にも繋がります。

当社は、利益を上げるために人を育てるのではありません。事業を通じて人が育つことが、当社の経営目的なのです。

ここにいる皆さん全員が主役となり、その溢れるエネルギーで当社の未来を創ってくれることを期待して、私からのお祝いの言葉とします。



新入社員に語りかける酒井社長



入社式の様子

<参考> 2026年度新入社員数（単位：名）

	大学以上	高専・高校等	合計
男性	58	49	107
女性	27	16	43
	85	65	150

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html